さとしょう
議会だより

No.115
2024.1.31

岡山県 里庄町議会

明るい未来へむかって（はたちの集い）

- 12月定例会 令和５年度補正予算 …… (2)
- 請願（3件）…… (5)
- 臨時会 …… (6)
- 視察研修（山口県 和木町・岩国市）…… (10)
- 町政を問う！（6人が登壇）…… (11)
- シリーズ こんな活動をしています（里庄町文化協会 カラオケ部）…… (18)

議会広報編集委員会
E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

令和5年度 補正予算は
全会一致で可決
その他議案も全て原案通り可決・同意されました

12月 定例会

令和5年第6回定例会は12月1日から8日までの会期で行われました。議案は条例の一部改正4件、令和5年度補正予算7件、人事案件1件、道路認定1件が上程されすべて原案通り可決・同意されました。また、請願3件がありました。

補正予算は予算決算委員会に付託され、請願は総務文教委員会、建設福祉委員会へ付託され審査を行いました。また、発議1件があり可決されました。

なお、一般質問には6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

一般会計の主な補正予算

ふるさと納税返礼事務委託料 7630万円

さらに1億5千万円の寄附が見込まれるための、返礼事務の委託料です。

令和5年度の当初予算額3億円を4億5千万円に上方修正しました。

東小設計監理委託料 447万円

東小学校駐車場用地の測量設計にかかる委託料です。

小児医療費補助金 1489万円

新型コロナ明けに伴う受診者の増加に伴い、小児医療費が増加したためです。

児童発達支援事業 1172万円

主に、放課後等デイサービスの利用人数、利用回数が増えたものです。

物価高騰対応重点支援臨時給付金事業 6510万円

物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯に対し、1世帯当たり7万円を支給します。

対象者は令和5年12月1日時点で町に住民登録があり、世帯全員の住民税均等割が非課税の世帯。

12月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	62億1260万円	(2億5976万円)
国民健康保険特別	10億5970万円	(74万円)
介護保険特別	12億8180万円	(154万円)
後期高齢者医療特別	1億8650万円	(△225万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億6794万円	(32万円)
資本的支出	1億4623万円	(17万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	4億1321万円	(25万円)
収益的支出	3億6971万円	(25万円)
資本的収入	3億8765万円	(43万円)
資本的支出	5億7632万円	(43万円)

人事

固定資産評価審査委員会委員

里庄町新庄

岡　雅文氏

町条例

里庄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

令和6年10月からマイナンバーカードと保険証が一体化し、紙の保険証が廃止された場合、マイナンバーカードを利用して心身障がい者、ひとり親家庭、子ども医療費の各給付にかかる申請者の医療保険の種別等を確認するためのものです。

里庄町職員の給与に関する条例及び里庄町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和5年人事院勧告による国の改正を踏まえ、里庄町職員の給与の改正を行います。

一般職の給与の平均改定率は1・1％です。

期末手当・勤勉手当は現行の4・4か月を4・5か月に引き上げます。

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和5年人事院勧告による国の改正を踏まえ、特別職の年間期末手当を現行の3・9か月から4・0か月に引き上げます。

里庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

出産する被保険者に係る産前産後期間相当の保険税の所得割額と均等割額を免除します。

免除期間は1人を出産の場合は出産月の前月から4か月間、双子以上を出産の場合は出産月の3か月前から6か月間です。

ここが反対！

まだ景気は上がっていない

平野敏弘議員

世の中、コロナの影響でまだ景気は上がっていない。

三役は本当に生活に困った人はいない。

町民が苦しんでいる時は、三役もそれを分かち合ってもらいたい。

ここが反対！

特別職は上げるべきでない

佐藤耕三議員

人事院勧告ということだが、一般の人の所得は上がっていない。

子育ても終わり、職員に比べ決して安くない町長、副町長、教育長の特別職報酬を上げることは反対する。

ここが賛成！

長期的に見れば納得できる

岡本貴之議員

執行部からは、民間給与との格差を埋めるべく、人事院勧告に基づき期末手当を変動と説明があった。

長期的な目で見れば、報酬や手当の増減に対する判断として納得できる条例の改正である。

ここが賛成！

人事院勧告に基づいたもの

仁科千鶴子議員

今回人事院が1万1900の民間事業を調査、その結果に基づいて勧告された。

今まで特別職3人の給与期末手当は、経済状況や景気動向に鑑み下げている。

コロナも収束し、活動ができるようになった今、安全安心できる持続可能な町行政を行うため、町民が納得できる方法であり、勧告を受け入れ引き上げに賛成。

常任委員会報告

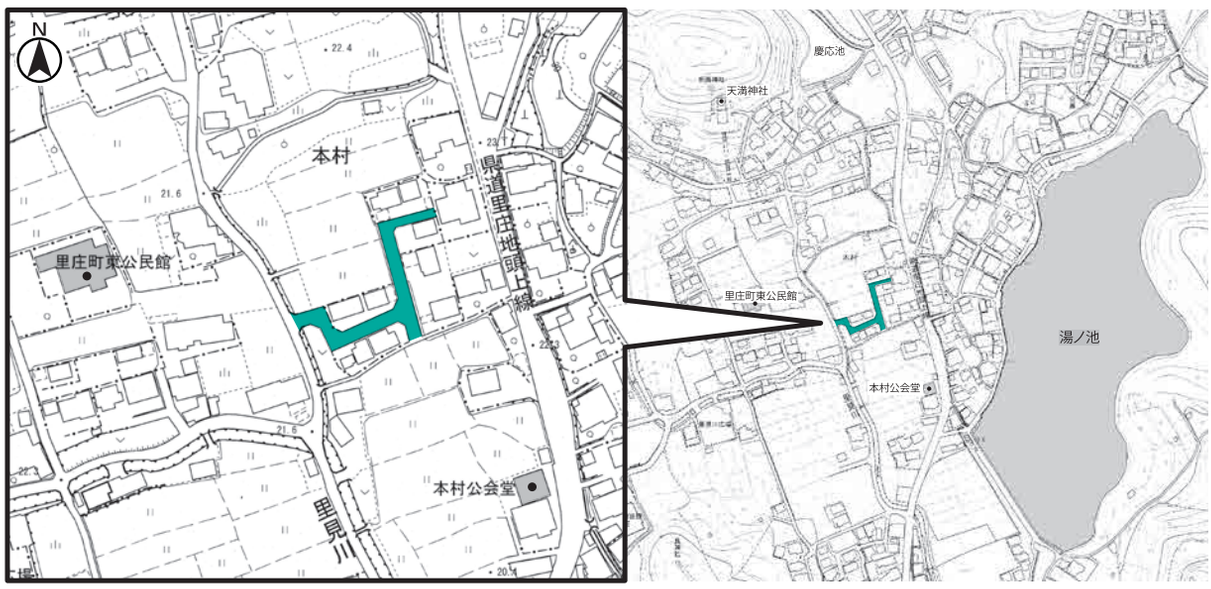
建設福祉委員会

12月5日、委員全員が農林建設課の案内のもと、現地調査・確認を行い、その後慎重に審査しました。

本路線は、平成20年に本村地区の里庄東公民館東側に10区画造成された団地内にある位置指定道路で、団地内全ての区画で住宅が建設されており、規格どおりに施工されていました。

補修が必要な箇所は担当課の指導のもと、地権者により既に補修されていました。

審査・採決の結果、本案は全会一致で認定すべきものと決しました。



予算決算委員会

12月6日に関係当局の出席を求め説明を聴取しながら、慎重に審査を行いました。

ふるさと納税事業での返礼品は町内業者が僅かに多く、1万円から2万円の寄附額が多い。

採決の結果　令和5年度里庄町一般会計補正予算は、賛成多数で可決、特別会計5議案については、全会一致で可決すべきものと決しました。

はじめてのお友達（げんキッズ）

－ 請　願

「最低賃金全国一律への法改正を求める意見書」採択を求める請願

賛　成 4：5 反　対

請願主旨

現在はその地域の生計費と賃金、事業者の支払い能力を考慮し最低賃金が決められています。そのことで最低賃金が低い地域では最低賃金は低く抑えられています。

全ての労働者とその家族の健康と文化的な最低限度の生活を確保するために法改正は必要。

総務文教委員会審査

都会と地方では物価など地域間格差があるので、全国一律は難しい。

一律にすると個人事業者や中小企業は経営が苦しく、雇用などにひずみが来るのではないか。

社会全体の底上げがなければ、世界に取り残される。国に意見書を上げ、働きかけないと何も変わらない。などの意見が出ました。

以上の意見を踏まえた結果、反対多数で不採択にするものと決しました。

ここが賛成！

最低賃金全国一律を

佐藤耕三議員

現在、日本の最低賃金は、時給約1000円。地域間格差が出れば、賃金が高いほうへ人口が流れる。都市部への人口流出を防ぐためにも必要。仮に時給1500円でも、手取りで約20万円くらい。そこまで上げるためにも、法改正が必要。

ここが賛成！

賃金格差の是正を

仁科英麿議員

毎年若い人たちが卒業と同時に都会に出て行き、町は急激に高齢化が進み、空き家も目立っている。原因は、中央と地方の所得、賃金の格差にあり、民間の責任でやるのは無理。地域からこの声を強く出していくべき。

再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願

賛　成 7：2 反　対

請願主旨

えん罪の防止のために、検察・警察が持っている未開示の証拠を裁判長の指示の有無にかかわらず開示する法制度にする。

裁判所が再審開始決定をすれば、検察庁が異議申し立て・上訴できない法制度にする。

総務文教委員会審査

今までも冤罪事件もあるので再審は必要。

えん罪防止のためにも法改正は必要。

などの意見が出ました。

以上の意見を踏まえた結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

ここが賛成！

未開示の証拠を開示すべき

田辺博樹議員

検察、警察が持っている未開示の証拠を裁判長の指示の有無にかかわらず開示する法制度に改定するべき。

隠された証拠により判決が下り、有罪にすることはできない。

発　議

「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書案」は賛成多数で可決

賛　成 8：1 反　対

請　願

国民のいのちと健康を守るため、政府の責任での医療・介護事業所への支援を拡充とケア労働者の賃上げや人員増を求める請願書

継続審査に対し　賛　成　8：1　反　対

請願主旨

公定価格で経営している医療・介護事業所は物価高騰分を価格に転嫁できず、賃上げに必要な財源確保が困難。

そのために医療・介護事業所への経済的支援の拡充と診療報酬・介護報酬の引き上げが必要。

建設福祉委員会審査

請願者に説明を求め、慎重に審査しました。

さらに資料を収集し、内容を慎重に審査する必要があるという意見などが出ました。

以上の意見を踏まえた結果、全会一致で継続審査とすべきものと決しました。

ここが賛成！

賃金が安い、上げる必要が

佐藤耕三議員

介護・医療現場は、全体的に賃金が安い。

資格や年齢で賃金格差はあるが、一律に上げていくことが必要。

第1回 臨時会

令和6年第1回臨時会は1月12日に開催されました。

議案は条例の一部改正2件、補正予算1件が上程され、全て原案通り可決されました。

補正予算

医療機関・社会福祉施設等物価高騰対策支援事業　1390万円

物価高騰長期化の影響を受けているものの、患者利用者に負担を転嫁できない医療機関・社会福祉施設へ質の高い医療・サービスが維持できるように、支援金を支給します。

出産支援事業　240万円

物価高騰が長期化する中、出生した子ども一人当たり3万円の出産支援金を支給します。

バランスが良くない

仁科英議員　医療・社会福祉施設等を対象に助成しているが、給食・農業は考えず、どういうプロセスで考え最優先したのか。

町　長　給食費の軽減に取り組み、子育て世帯には、給付金を金銭的支援に行った。

患者、利用者に負担を転嫁できない医療機関・社会福祉施設等の負担軽減を図り、安心・安全で質の高い医療社会福祉サービス等の維持を目的として支援金を交付する。

仁科英議員　電気代が上がった住民対応施設の経費は対象になると思うが、バランスが良くない。どう検討してここに至ったのか、プロセスを。

町　長　各公共施設の電気代は検討していない。

推奨メニューについては、各課に指示し、事業として一番適切であると考え調査をした上で決定した。

支援金額の基準は

難波議員　支援金額について、何を基準として設定しているのか。

町長　明確な基準としては考えていない。事業者によって差異はあるが、早く支援を行うことで、質の高いサービスを提供していきたい。

難波議員　診療所・歯科診療所が50万円だが、高齢者施設・障害者施設等は30万円である。

　これ以上、出してあげられないのか。

町長　浅口医師会とある程度足並みをそろえていこうという考え方。

幅広い支援は

佐藤議員　推進事業メニューは8つある。

　幅広い支援は考えなかったのか。

町長　全て町内の事業者に対して広く交付金事業が行えればいいが、なかなか行き届かない。

　今コロナもまた、はやってきている中で物価高騰や医療機関のスタッフ確保に困り、経営が大変厳しいという生の声から、今回の事業者支援については医療介護・社会福祉関係にきるだけ手厚い支援と考えた。

ここが反対！
根拠が非常に不明

仁科英麿議員

　医療、福祉施設等への物価高騰対策支援事業は当該各施設に限ってなされる。昨年度交付金の上乗せである。

　農業、学校給食、その他施設に充てないのはバランスも悪く、根拠が非常に不明。

ここが反対！
使い道を広げて

佐藤耕三議員

　今回の医療機関、福祉施設等への支援に反対では無いが、推奨メニューは８つあり、もっと使い道を広げて多くの人に利用してもらうことが必要。

町条例

里庄町証明等手数料条例の一部を改正する条例

　本籍地以外の市区町村窓口でも、戸籍証明書・除籍証明書を取得することが可能になります。併せて、オンライン上で行政手続きを行う際利用可能な戸籍証明書として戸籍電子証明書の発行が可能となります。そのために新たな手数料を徴収するための改正です。

里庄町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

　印鑑証明の申請が役場窓口及びマイナンバーカードを利用したコンビニエンスストア等での申請に加え、スマートフォンに登録された電子証明書を利用したコンビニエンスストア等での申請が可能になることでの改正です。

おかあさんといっしょに（げんキッズ）

賛否表

○…賛成　×…反対　欠…欠席　ー…本人議案のため賛否に加わりません

		議案名	平野敏弘	岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	議決結果
定例会 12月	議案第65号	里庄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第66号	里庄町職員の給与に関する条例及び里庄町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第67号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	×	×	○	○	可　決
	議案第68号	里庄町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第69号	令和5年度里庄町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第70号	令和5年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第71号	令和5年度里庄町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第72号	令和5年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第73号	令和5年度里庄町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第74号	令和5年度里庄町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第75号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第76号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同　意
	議案第77号	令和5年度里庄町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	請願第1号	「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願	×	×	×	○	×	○	○	○	×	不採択
	請願第2号	再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願	○	○	×	○	×	○	○	○	○	採　択
	請願第3号	国民のいのちと健康を守るため、政府の責任での医療･介護事業所への支援を拡充とケア労働者の賃上げや人員増を求める請願書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	継続審査
	発議第4号	再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書案	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可　決
臨時会 1月	議案第1号	里庄町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第2号	里庄町証明等手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第3号	令和5年度里庄町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	×	○	×	×	○	○	可　決

注）議長は採決に加わりません。（賛否が同数の場合を除く。）

願いを込めてしめ縄づくり（八ッ的分館）

新年の挨拶

里庄町議会議長
小野　光章

新年を迎え、皆さまにご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、日ごろより里庄町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、能登半島地震では、甚大な被害が発生しました。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、早期復興を願うものです。

さて、新型コロナウイルス感染症も落ち着きをみせ、社会経済活動が本格的に再開されています。

一方で、国際情勢の不安定化等に伴う資源価格の高騰、さらに食料品からサービス提供にわたりすべての物価の高騰が日常生活に大きくのしかかっています。特に物価高は、多方面にわたり大きく影響が出ています。

町議会といたしましても、行政とともに真剣に向き合い、この難局を乗り越えてまいりたいと思います。

今後も、円滑な議会運営に努めることはもとより、町民の皆さまの声を町政に反映し、ご期待に応えるよう、研鑽を積み、知恵を出し合いながら、行政と議論を深めることで、町政の監視機能を果たしつつ、本町が発展するように邁進してまいる所存です。

結びに、町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

後列左から　難波啓祐　田辺博樹　仁科英麿　佐藤耕三　岡本貴之
前列左から　岡村咲津紀　平野敏弘　小野光章　仁科千鶴子　眞野博文

視察・研修

常任委員会視察研修

山口県和木町と岩国市を訪問しました

「和木町／1月16日」

和木町は面積約10㎢（里庄12㎢）、人口約6000人（同11000人）とコンパクトな町で、広島県との県境に位置しています。JR和木駅もあり交通の利便性に優れています。

今回の視察研修では保育園、幼稚園が一体の「認定こども園」「蜂ヶ峰総合公園」「JR和木駅」に行ってきました。こども園の広大な敷地の中で遊ぶ園児たち、給食風景。蜂ヶ峯総合公園は、遊ぶ、見る、食べるといった家族で1日中楽しめる施設になっていました。

そして、平成20年に新規開業したJR和木駅の様子を視察しました。

それぞれ担当者から丁寧な説明を受け、当町に何かフィードバックできるものはないか、熱心に質問させていただきました。

「岩国市／1月17日」

岩国市には米軍基地、空港があり、臨海部には工業地帯が広がっています。

ここでは「よべるん」という乗合タクシーのことについて説明を受けました。

「よべるん」はバスのように他のお客さんと同乗することができるタイプのタクシーで、1人1乗車500円で限られた地域の行き来に対応しています。

当町にも参考にできることがあるのか、多くの質問をさせていただきました。

12月定例会

一般質問

町政を問う

6人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員……12P
① 中学校の英語検定

岡村 咲津紀 議員……13P
① 政治分野における男女共同参画社会の推進

佐藤 耕三 議員……14P
① 女子トイレへの生理用品設置を
② 駐車場の料金体制は
③ 東小学校南東の信号機は

仁科 英麿 議員……15P
① 里庄東小学校南東の角にある信号機の存続等
② 里見川河川整備計画は
③ 里庄町公共施設整備基本構想のパブリックコメントは
④ 農業支援などを目的として地域おこし協力隊員を招致しては

平野 敏弘 議員……16P
① 駐車場は
② コロナ後の行事は
③ 太陽光発電は
④ 里庄町の観光大使は
⑤ 駅の整備は
⑥ スーパー進出の話は

田辺 博樹 議員……17P
① 町財政の基盤である町税
② 企業誘致

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

英語検定の受検料に助成を

教委事務局長／前向きに検討していく

岡本　貴之 議員

現在、里庄町は子どもたちの学力向上に大変力を入れている。

全国学力・学習状況調査では、昨年度、中学校の国語・数学・英語（中2年生のみ）どの学年も全国平均を上回っている。

中でも、これからの社会生活で必要になってくる英語は、確実に子どもたちの力にしてもらいたい科目。

高校受験時にも、検定結果を加点としている私立高校が県内に16校あり、高校受験をする生徒の選択肢を広げる手助けをしてくれている。

また、受検料は3級受検で1回約5000円から6000円程度かかる。

問 中学生の英語検定の受検料免除など、町で助成することはできないのか。

教委事務局長 子どもたちの英語の技能を高めていくことは、今後グローバル化していく社会において非常に大切なこと。

中学校の英語技能の向上において、英語検定を利用することも有効な手段の一つだと考えている。

英語検定の結果は高等学校入試において加点の要件としている学校もあるので、英語検定受検に向けて努力することは、英語技能の向上だけでなく、入試対策としてもよいことだと考えている。

受検料の補助について、今後、前向きに検討していきたいと考えている。

問 英語検定の受検会場を、里庄中学校での実施はできないのか。

教委事務局長 里庄中学校では昨年度までは年3回ある英語検定のうち1回を自校で実施していた。しかし、受験者数が15人以下と少ないこと、また検定を休日に行う必要があり、教職員の負担となっていたことなどを理由に、今年度から開催を見送っている。

今年度受験を希望する生徒は、通っている学習塾、また近隣のおかやま山陽高校で受験をしている。

今後、中学校を利用しての検定実施については、教職員の働き方改革推進の面から難しいと考えている。

公民館などでの実施ができるかどうかについて、今後検討をしていきたいと考えている。

岡村咲津紀 議員

政治分野における男女共同参画

総務課長／多くの方が議会に関心を

問 今年の5月、第4次里庄町男女共同参画基本計画「きらり里庄ウィズプラン」が策定された。それぞれの分野で数値目標を掲げ、性別に関係なく誰もが個性と能力を十分発揮し、生き生きと自分らしく暮らせる社会を実現していくと記載されている。

議会には多様な視点が必要であり、企画立案や住民の多様な意見を取り入れるためにも、若者や女性議員を増やすことが重要である。

住民と共に計画を進めるとすれば、庁舎内の改善が必要である。

町職員の女性の割合と管理職の女性の割合は。

総務課長 4月1日現在で、町職員の女性割合は約39％であり、管理職の女性割合が少ないとは考えていない。

問 数年前に女性管理職が課長ポストを降りた。女性管理職候補の育成をどのようにしているのか。

総務課長 男女関係なく職員に必要な知識と能力の向上を目的に研修の機会を設けている。

職員の育成、人事、事務の割当てに、適材適所の配置に今後も努めていく。

町長 一般職であった者が管理職になると、立場が変わる。

自己啓発と組織のため研修を今後も積極的に実施していきたい。

問 会計年度任用職員の男女の比は。

総務課長 現在90人を任用し、約4分の3になる68人が女性である。

問 国の第5次男女共同参画基本計画の中には、政治、経済、社会など、あらゆる分野において政策方針決定の過程に男女が共に参画し女性の活躍が進むことは、急速な少子・高齢化、人口減少の進展、国民の価値観の多様化が進み、様々な視点が確保され、あらゆる人が暮らしやすい社会の実現につながるとある。

町の現状をどう捉えて取り組んでいるのか。

総務課長 多様な人材が参画する議会の実現のために、より多くの方に関心を持ってもらうことが重要であると捉えており、具体的な取組は今後の検討課題である。

問 国は、男女の候補者数の均等化を目指し、必要な施策の策定や実施を努力義務とし定めている。

政治分野における男女共同参画推進法について、町民に向けての周知、啓発、取り組みをどのようにしてきたのか。

総務課長 周知活動は実施していない。

政治分野に限らず、役場庁舎1階や図書館でパネル展の開催やポスターの掲示、広報紙への掲載などの啓発に取り組んでいる。

問 政治や社会に対する男女共同参画への理解を進めていくのは当然であり、年齢にかかわらず学習できる機会や、自治体が率先して女性の政治参画ができる環境づくりをしていくべきである。

女性のリーダー養成講座や女性議員を増やす会などで、議員に立候補する人材を育てることも自治体としての役割ではないのか。

総務課長 町民意識調査では、今後、女性の参画が増えたほうがよいと思う職業に、国、県、町の議会議員と答えた割合が57・8％と最も高い結果が出ている。

町長 女性の政治参画の機運も少しずつ出てきている。

若い人に政治に対しての教育や機会が必要であり、機会を見て取り組んでいく。

生理用品設置、必要では

教育長／要望を聞きながら対応

問 学校の女子トイレに生理用品を置くことには、９月議会では必要性を感じないので早急に置くといった答弁はなかった。

浅口市では常時置くことで２人に１人使用しているが、どう考えるか。

教育長 トイレに常時置いておけば、たくさんの数が使われると思う。

問 保健室に取りに行くのが恥ずかしい。友達に借りるなどの声もある。必要性があるのでは。

教育長 どうしても必要という報告は学校から聞いていない。

保健室に置くなどの対応はしているので、今すぐ置く考えはない。

今後ＰＴＡなどの考えも聞き、必要性を感じた場合は積極的に置かなければいけないと考える。

問 学校にも教育委員会を通じ働きかけてもらいたいがどうか。

教育長 あればいいものではなく、必ず必要なものを要求するよう学校には言っている。

学校の実態を把握し、要望も聞きながら対応していきたい。

佐藤　耕三 議員

上限を下げては

町長／流動性を持たせたい

問 駅南の有料駐車場は１日止めて１２００円は高い。上限を下げてはどうか。

町長 駅前の駐車場は駅に近く便利。

大勢の人に利用してもらいたいが、広さが限られているので流動性を持たせたい。

駅東は１日１００円、駅西は２００円。安価な駐車場を利用してもらいたいとも考えている。

問 アンケートで、町民の声を取っては。

町長 今後考えて行きたいと思う。

信号機撤去条件は矛盾

農林建設課長／公安委員会の考え

問 町道が松尾方面に開通すれば、県道との交差点に新しく信号機が付く。そのためには今ある東小学校の南東信号機撤去が条件というが、なぜ条件を付けるのか。

農林建設課長 ２か所同時に設置はできないのが今の公安委員会の考え。

問 信号機を撤去すればより危険。公安委員会と話す時は呼んでくれるか。

町長 公安委員会との協議は行政の務め。

残して欲しい信号機

仁科 英麿 議員

信号機、突っ込んで議論したか

農林建設課長／公安委員会とは、先般も協議

問 東小学校南東の信号機の問題だが、ほとんど進展していないようだ。

公安委員会の言い分、1か所だけしか認めない、それを前提に議論されており、とても残念。

設置の指針でも、今あるものを取るのは、安全が確認される場合、他の方法で代替できる場合だ。

そういうことを踏まえて、公安委員会と突っ込んで議論したか。

農林建設課長 先般も協議している。

町民の意見とかを丁寧に説明し、信号の距離等も説明したが、やはり、距離が近過ぎる、信号を誤認する可能性があり危険ということで、残せないとの回答だ。

また、当分残して様子を見て判断するという考え方は、今の公安委員会にはないという回答だ。

問 歩いたら100歩。笠岡駅前の70mに似ており、誤認の恐れがあるとは思えない。

地元も皆心配している。

県でもいろんな議論をして欲しい。

農林建設課長 町民の意見等をしっかり共有し、公安委員会に、一番安全で効果的な方法を求めて、今後も協議する。

問 交通量は、平成26年の調査では、朝7時から夕7時までで、南北合わせて8400台。その内の500台は、右折して松尾の方に入る車だから減るが、あとの7900台は通る。

今はどういう見込みか、今後はどうなるか。

農林建設課長 浜中バイパスが開通したこともあり、以前より増加しているのではないか。

今後は、令和7年度末の玉島笠岡道路の開通により、国道2号線は減少するが、地域内はそれ程減少しないのではないか。

問 将来は、ごみ運搬車、熱利用施設、その他もあり大幅に増えて、1万台ぐらいになると思う。

特に、朝は物凄い状態。バイクなどが、新しい道路に振り変わることはない。

安全が完全に確保されるまでは、絶対に残しておくべきでは。

農林建設課長 様々な安全対策を今後も検討していきたい。

早く排水することが重要

町長／水位を下げること等要望

問 里見川河川整備計画策定作業の進捗状況、終了の時期は。

農林建設課長 現在調整を続けており、まだ示せる段階ではない。

問 整備基本方針は平成24年に定められており、西日本豪雨災害からも既に5年。

なぜそんなに時間がかかっているのか。

農林建設課長 現状の把握、問題の抽出、対策方針の検討などに時間を要しているため。

問 池田や松尾の一部などは、大雨の時は遊水地として使われているように思えるが、今後はできるだけ早く排水し、土地を有効活用することが重要だ。

町長 里見川の水位を下げて水の流れをよくすることと、護岸の早急な整備を県に要望している。

問 昭和水門からポンプアップして水を抜くことと、阿賀崎地区辺りをもっと上手に使うことについては、どう検討されているか。

町長 県で検討していると思う。

早急な計画策定と効果ある対応を申入れている。

問 高岡から出ている京田川も、出口でポンプアップして水を抜くべきではないか。

農林建設課長 効果的な方法があれば検討する。

その他の質問

Q公共施設整備基本構想

・事業名は分かり易く

・パブリックコメントは、最低でも1ヵ月で

・必要な都度何回でも

A・今の段階ではこれで

・20日間で実施する

・適切な時期に行う

Q農業支援のため地域おこし協力隊員の招致をA効果ある手法を考える

混雑を知っているか

健康福祉課長／整備を進めている

問 敬老会当日に、役場の駐車場が混雑したのを知っていたのか。
参加者数は。

健康福祉課長 役場担当職員が、駐車場内で参加者や送迎バス誘導をしたので、状況は認識している。
申込者数は４５５人。

問 平日は役場に来る人が非常に多いので混雑するため、敬老会を土曜日や日曜日に行ったらどうか。

健康福祉課長 これまで閉庁日の開催はない。
役場周辺の駐車場整備を進めている。来庁者の駐車スペースの確保等も検討しながら総合的に考えていく。

問 つばきの丘運動公園には駐車場が何台あるのか。

農林建設課長 第１駐車場に障害者用の駐車枠も2台を含め51台。第２駐車場は24台。

コロナ後の行事は

町長／町内に活気が戻った

問 コロナで中止になっていた夏祭りや運動会、文化祭が行われた。
コロナの前と比べて来場者の人数に変化があったのか。
運動会が今年から名称が変わり、時間も短縮された。
良かった点や何か反省点、感想は。

町長 イベントを通じて町内に活気が戻り、町が目指す子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔があふれるまちを少しでも実感できたのではないかと感じている。

活気が戻った文化祭

平野　敏弘 議員

太陽光発電は

総務課長／研究していく

問 役場の電気代はどれくらい増えたのか。

総務課長 令和３年度が約４５０万円、令和４年度が約７５０万円で約３００万円の増。
燃料費の高騰で増額となった。

問 太陽光発電を町は入れる気があるのか。

総務課長 導入は多角的に研究していく。

その他の質問
Q 観光大使はA タイミングがあれば検討
Q 駅前整備はA バリアフリー化を進める
Q 駅前スーパー進出の話はA 町が踏み込めない

田辺　博樹　議員

法人個人の町税はそれぞれいくらか

税務課長／別々のデータはない

問　町財政の基盤である町税について尋ねる。
　法人の町税総額、個人の町税総額はそれぞれいくらか。

税務課長　法人と個人での別々のデータは持ち合わせていない。

問　過去5年間の企業誘致についてはどのようなものがあるのか。

企画商工課長　過去5年間で新たな企業の工場が立地した案件のうち町が支援した案件は1件。

問　現在進行中の案件はあるのか。

企画商工課長　現在新たな案件はない。

問　工業団地造成の構想はあるのか。

企画商工課長　現在町としてはそのような構想はない。

企業誘致委員会は

町長／設置の考えはない

問　誘致企業に提供するインセンティブは、町はどのようなものを考えているのか。

企画商工課長　里庄町企業立地促進奨励金、里庄町企業育成振興条例に基づき2種類の補助金を要件に応じて交付することとしている。

問　里庄町は理研との太い絆もある。全町を挙げて企業誘致に取り組む企業誘致委員会を立ち上げる考えはあるのか。

町長　現時点でその考えはない。

問　シリコンバレーの向こうを張って南北山に囲まれたこのバレーに超精密工作機では世界に冠たるメーカーの立地する我が町として当該メーカーの顧客企業群を誘致して、超精密金属加工工業地帯バレーを形成する構想はどうか。

町長　町でどういうふうな企業誘致ができるか、しっかり情報を入れていきながら取り組んでいけたらと考えている。

問　町税の増収を図るための方向づけは、企業誘致かそれとも人口増によるものを考えているのか。

町長　社会インフラの整備を進めて住民が住みやすい、企業にも立地していただける、そのような環境を作っていく必要がある。

工業団地（グリーンテクノ）

シリーズ こんな活動しています！ 第13回

里庄町文化協会 カラオケ部

カラオケ部は、多くの人とのコミュニケーションや、声を出すことによるストレス解消、健康づくりを目的として発足し、現在20人程の会員が活動しています。

活動内容としては、月2回第2、第4日曜日に中央公民館で練習を行っており、年2回ミニ発表会を駅前「空」で開催しています。

マイクを持てばそこはもうステージ。スターになった気持ちで歌に酔いしれます。仲間からの拍手も暖かく、歌謡談議だけでなく、様々な話に花が咲く楽しい時間を過ごしています。

ちなみに、私の十八番は五木ひろしの「ふるさと」いやまだ十七番かもしれません。

和気あいあいの楽しい「カラオケ部」に関心のある方、ご参加お待ちしています。

《第115号》
令和6年1月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618
編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとがき

謹賀新年

辰年は、様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事をいい方向に導いてくれる力があります。

これからも、皆さまの元気な笑顔をカメラに収め、議会としてありのままの姿を伝えていきたいと思います。

「読みやすい、ためになる」をモットーに精進してまいります。お楽しみに。

（仁科千）

編集委員
委員長：佐藤耕三　副委員長：岡本貴之
委員：仁科千鶴子　委員：田辺博樹　委員：難波啓祐

令和6年3月定例会は、3月1日（金）から始まる予定です。